



創立記念式典まで あと2か月

校長 井上 貴文

ひんやりとした朝夕の空気が心地よい季節となりました。これまで彼岸花は不思議に彼岸に合わせ咲くものだという認識でいましたが、温暖化の影響か、今年の彼岸花は咲く時期が若干ずれているように感じたのはわたしだけでしょうか。

このところ、運動会へ向けての練習が本格的にはじまり、校庭からは子供たちの大きな歓声が聞こえてきます。子供たちの運動不足と体力低下が懸念される中、体育的行事を前にしたこの時期に、子供たちには十分に運動に取り組み、体力向上に努めてほしいと願います。

さて、明和小学校創立50周年記念式典まで2か月をきりました。これまで実行委員会の皆様方の熱心な取組により、準備を進めていただいていますことに心から感謝申し上げます。明和小学校が開校した昭和49年がどんな年であったかを少し振り返ってみましょう。「我が巨人軍は永久に不滅です」の言葉を残して、巨人の長嶋茂雄選手が現役を引退しました。また、日本人として唯一のノーベル平和賞を佐藤栄作氏が受賞しました。ゲイラカイトが流行し夢中になって遊んだことを覚えています。本県で育った森進一の「襟裳岬」などがヒットし演歌が全盛期へ向かっていったのもこの時期でした。そのような中、明和小学校が誕生しました。

先日の全校朝会で、子供たちに公募して決定したオリジナルキャラクターの「めいた」を紹介しました。デザインは右の写真のとおりです。作者は、6年生の太良悠人さんです。作者は、カニが好きだということで、明和の「め」を基調にカニをモチーフとし『元気な明和の子供』をイメージして描かれています。ギョロリとした大き目は「好奇心旺盛な明和の子」、赤いハート型の手は「明るい和をつくる子」、黄色い足は「元気に駆け回る子」を表しています。記念のキャラクターグッズが子供たちに届けられる予定です。

また、記念講演会に駆けつけてくださる女子ソフトボール日本代表の川畑瞳選手についても改めて紹介しました。先日のアジア大会では、5番二塁手として日本の大会6連覇に貢献し、直後のかごしま国体においても県代表選手として出場しました。そんな川畑選手から、どんなメッセージが届けられるのかたいへん楽しみです。今後のご活躍をみんなで応援しましょう。

運動会では、子供たちの夢と希望を込めたバルーンを会場の皆様方と共に大空に放ちたいと思います。ご協力のほどよろしく願いいたします。



日曜参観での当選発表



東京オリンピック後 校長室にて